

第2次 豊浜町まちづくり計画

☆香りと味と輝きのまちビューティフルアイランド豊浜☆



2020年3月

豊浜町まちづくり協議会

目 次

1. はじめに	1
2. 豊浜町の概要	2
(1) 地理的特徴	2
(2) 世帯・人口・高齢化率	3
(3) 豊浜町の地域資源・見どころ	4
3. まちづくり計画の概要	7
(1) 当初まちづくり計画の概要	7
(2) 現状と課題	7
(3) 第2次まちづくり計画の概要	8
ア 笑顔がじょうさんあふれる豊浜じゃけん	8
イ やんちゃ坊主とこうばりさくが育つまち	9
ウ 「山には黄金 海には銀影」本物しかないまち	10
エ 海も山も人もキラキラアイランド	10
オ 安心・安全・安らぎ(3安)のあるまち	12
(4) 豊浜町まちづくり協議会の体制	13
4. 豊浜町の沿革等	14
5. 参考資料	
豊浜町まちづくり協議会規約	15
豊浜町まちづくり協議会構成員	17
豊浜町まちづくり協議会委員名簿	17

1. はじめに

豊浜町まちづくり協議会では、平成21年12月に「豊浜町まちづくり計画」を策定し、それに基づいて皆様の協力のもと、まちづくり事業を進めて参りましたが、計画策定後10年以上が経過し、その間豊島大橋の開通など、豊浜町の環境も大きく変化してきました。

わが町も少子高齢化の波にさらされ第一次産業の衰退、文化の継承、災害対応などの現実的な課題も見えてきております。

こうした状況を踏まえ、「元気で安心して暮らせるまち豊浜町」を次世代につないでいくために、その指針となる「豊浜町まちづくり計画」を見直し、「第2次豊浜町まちづくり計画」として策定しました。

今後も豊浜町を魅力にあふれ、活力に満ちた町に作りあげてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2020年3月

豊浜町まちづくり協議会
会長 伊藤圭一



2. 豊浜町の概要

(1) 地理的特徴

豊浜町は、豊島、大崎下島の一部、齋島、尾久比島、三角島の一部、その他の小島によって構成され、素晴らしい自然環境や多島美景観を有し、瀬戸内本来の島の風情を醸し出しています。

呉市の中心部と直線で約23kmの距離にあり、町域面積は11.65km²と、県内では2番目に小さい町で、豊島、大崎下島、齋島に6つの集落(山崎・小野浦・内浦・立花・大浜・齋島)が海岸からのわずかな可住地に密集して形成されています。

気候は温暖小雨という典型的な瀬戸内海の気候であり、急傾斜面は秩父古成層などの肥沃な土壌に恵まれて、みかんやレモン栽培が行われているとともに、瀬戸内でも有数の好漁場に面していることから、特にマダイやタチウオは全国的にも有名で、特にタチウオは、2019年9月に「豊島タチウオ」の品目でGI登録されました。

また、近年では飛来数が減っていますが、国の天然記念物であるアビ渡来群游海面を有し、県鳥「アビ」が飛来する町としても知られています。

みかん



レモン



マダイ



タチウオ



(2) 世帯・人口・高齢化率

豊浜町の世帯推移

(単位:世帯)

町名	年月	H21.9.30	H31.3.31
豊浜町大字豊島		831	722 (▲109)
豊浜町大字大浜		174	144 (▲ 30)
豊浜町大字斎島		16	11 (▲ 5)
計		1021	877 (▲144)

豊浜町の人口推移

年齢別人口統計(住民基本台帳)

(単位:人)

年月		当初計画策定時				現在				十年後	
		H21.9.30				H31.3.31				R10	
年齢		男	女	計	区分	男	女	計	区分	男	女
男女5歳階級別人口	100歳以上	0	1	1	1,098	0	0	0	925	0	0
	95～99歳	1	7	8		6	9	15		25	43
	90～94歳	11	22	33		22	56	78		49	70
	85～89歳	40	62	102		51	96	147		64	97
	80～84歳	86	126	212		81	121	202		73	82
	75～79歳	115	169	284		70	100	170		71	58
	70～74歳	116	136	252		80	90	170		54	53
	65～69歳	90	116	206		79	64	143		39	15
	60～64歳	83	98	181	620	55	54	109	335	23	24
	55～59歳	78	67	145		40	16	56		15	21
	50～54歳	48	42	90		23	24	47		19	7
	45～49歳	36	12	48		15	21	36		12	8
	40～44歳	20	22	42		19	7	26		7	6
	35～39歳	16	21	37		12	8	20		8	5
	30～34歳	19	8	27		7	6	13		11	4
	25～29歳	14	10	24		8	5	13		14	8
	20～24歳	14	12	26	11	4	15	9	7		
	15～19歳	20	17	37	128	14	8	22	63	14	5
	10～14歳	25	21	46		9	7	16		3	3
5～9歳	13	13	26	14		5	19	1		1	
0～4歳	13	6	19	3		3	6	1		1	
小計		858	988			619	704			512	518
人口計		1,846				1,323 (▲523)				1,030(▲293)	
高齢化率		59.5%				69.9%				76.99%	

(3) 豊浜町の地域資源・見どころ

名 称	所 在 地
漁港の風景(小野浦地区) 	豊浜町豊島 <p>概要 小野浦地区は、昔ながらの漁師町で、1950年代にはこの小さな集落に4,000人が住み、家屋が密集している様子は、その当時のままで、歴史を物語っています。</p>
アビ資料展示室 	豊浜町豊島 <p>概要 アビ漁(イカリ漁)とは、「アビ」と漁師と魚たちが一体となって展開する世界でも珍しい伝統漁法です。 あび資料展示室では、独特の漁具や木造漁船等により「アビ漁(イカリ漁)」を紹介しています。</p>
十文字山公園 	豊浜町豊島 <p>概要 公園の広さは約3,000m²あり、高さ8mのドーム状の展望台があります。 360°どこから見ても瀬戸内海を見渡すことができ、美しい島々・四国の山々の景色が楽しめます。</p>
空海展望台 	豊浜町豊島 <p>概要 豊島の高雄山の山頂に造られた展望台で、平和を願うための鐘つき堂があります。</p>

名 称	所 在 地
雄雉の滝(内浦地区)	豊浜町豊島
	<p>概要</p> <p>島にはあまり見られない美しい滝で、向かって右岸の岩肌に古い篆刻が見られ「游雉」と読めます。</p> <p>游は「遊ぶ」。雉は「鶴に似た鳥」……「アビ」ではないかと言われています。</p>
大浜海浜公園	豊浜町大浜
	<p>概要</p> <p>大浜にある海水浴場は、2008年の夏から海水浴場として供用開始。</p> <p>シャワー室・更衣室が完備されており、夏休みには、家族連れや子どもたちで賑わっています。</p>
架橋記念公園のジャングルジム	豊浜町大浜
	<p>概要</p> <p>豊浜大橋開通を記念して造られた高さ13.2m、幅15.6mの巨大ジャングルジムが架橋記念公園内に高くそびえ立っています。</p> <p>テレビや新聞で何度も紹介されたことがあり、ジャングルジムの上から見る景色は格別です。</p>
ムクの木(立花地区)	豊浜町大浜
	<p>概要</p> <p>大岐神社のムクの木は県下第2位の巨樹で胸高周囲約7m、高さ約15mもあります。</p> <p>発達した4条の板根は熱帯樹のように見え、県の天然記念物に指定されています。</p>

特産品

豊島タチウオ



豊島タチウオは、一本釣りで丁寧に扱うことから、体を覆う銀白色の表皮に傷がないことから「瀬戸の名刀」と呼ばれています。2019年9月にGI登録されました。

特産品

呉おこぜ



呉市内で最も水揚げ量が多い呉豊島漁協では、「引き縄漁」と呼ばれる方法で、一尾一尾丁寧に釣りあげています。

みかん



段々畑で栽培され、太陽の恵みをいっぱい浴びたみかんは、評価も高く、独自ブランドで集荷されていましたが、現在は、「大長みかん」として品質を受け継いでいます。

レモン



農薬をあまり使わない国産レモン発祥の地として「広島レモン」に脚光が当たったことから、豊浜町でもみかんからレモンへ栽培を転換しており、山の傾面には、レモン畑が広がっています。

せとひじき



瀬戸内の恵みがたっぷりのひじきです。植物繊維たっぷり、血液サラサラになる自慢の健康食品です。

豊島ラーメン



一本釣りされたタチウオのアラからとった、オリジナルスープが決め手のうれしいなつかしい島のラーメンです。

まるっとLEMON



レモンまるごと使ったミルク感たっぷりのアイスです。



「アビ渡来群游海面」は1931年に国の天然記念物に指定され、アビは、1964年に県鳥に指定されています。

3. まちづくり計画の概要

(1) 当初まちづくり計画の概要

「香りと味と輝きのまち ビューティフルアイランド豊浜」をキャッチフレーズとして、「香り」はみかんやレモンの香り、「味」は豊浜の鮮魚・人情味、「輝き」は子どもから高齢者まで輝く笑顔・活気を表し、みんなが住んでいてよかったと思える「美しい島 豊浜」を目指します。

ア 笑顔がじょうさんあふれる豊浜じゃけん

島特有の人情を大切にし、お互いが助け合い、だれもが笑顔でいられるまちを目指します。

イ やんちゃ坊主とこうばりさくが育つまち

島の子どもは、島の大人が守り、育て、若者がたくさん地元に戻ってくるまちを目指します。

ウ 「山には黄金 海には銀影」本物しかないまち

豊浜の特産品に誇りを持ち、町外の人が本物の味を求めてくるまちを目指します。

エ 海も山も人もキラキラアイランド

だれもが島に自然とふれあい、自然を守るきれいで住みよいまちを目指します。

オ 安心・安全・安らぎ(3安)のあるまち

子どもから高齢者まで3安を感じられるまちを目指します。

(2) 現状と課題

豊浜町まちづくり協議会では、平成21年12月に「豊浜町まちづくり計画」を策定し、この計画を基に地域と行政がより緊密な連携をとりながら事業を実施してきましたが、策定後10年以上見直していない状況です。

近年では、広島国際大学との連携事業や、町のPR冊子やマップの発行、中学生手作りの「島のお宝看板設置」など、新しい事業の取り組みを交えながら事業を行っていました。

しかしながら、人口の減少と高齢化(約70%)が進み、社会環境や生活環境の変化とともに地域の課題が多様化する中、ニーズに合った事業計画の見直しをしていく必要があります。

このため、地域の現状把握、これまでの活動実績、各団体との支援・協力などを踏まえ、現在実施している事業や将来を見据えた新規事業等を念頭におき、「第2次豊浜町まちづくり計画」を策定することとします。

(3) 第2次まちづくり計画の概要

将来像(まちづくりのキャッチフレーズ)

★香りと味と輝きのまち ビューティフルアイランド豊浜★

引き続き「**香り**」(みかんやレモンの香り)・「**味**」(豊浜町の鮮魚・人情味)・「**輝き**」(子どもから高齢者まで輝く笑顔・活気を表す)の3つを基にし、みんなが住んでいて良かったと思える「美しい島豊浜町」を目指し、かけがえのないふるさと『豊浜』を次世代につないでいきます。

まちづくり基本方針

ア. 笑顔がじょうさんあふれる豊浜じゃけん

島特有の人情を大切にし、お互いが助け合い、だれもが笑顔でいられるまちを目指します。



(ア) ビューティフルアイランド祭り

だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を目的として、子どもから高齢者までが気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に実施します。



(イ) 島コン事業

地元男性が町外などの女性をおもてなしして、出会い作りを行い、若者の定住を図ります。

(ウ) ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業

豊浜地区社会福祉協議会・自治会及び広島国際大学と協力し合い事業の継続・発展に助成します。

また、独居老人や高齢者対策事業にも各団体などと協力支援します。



(エ) とびしま同士の協力による地域づくり

安芸灘地域4島の各地区の特色を生かし、ウォーキング大会やサイクリングツアーなどの協同開催を通して地域づくりを行います。



(オ) 島ライブ事業

島を元気にするため、音楽仲間を島に呼び込んで、交流を行い地域の発展に支援します。



(カ) まちづくり事業助成

より良いまちづくりに繋がる「まちづくり事業」を募集し、その事業に必要な経費を助成します。



イ. やんちゃ坊主とこうばりさくが育つまち

島の子どもは、島の大人が守り、育て、若者がたくさん地元に戻ってくれるまちを目指します。



(ア) 魔法のランプ事業

豊浜の子どもたちに、スポーツや音楽に興味を持ってもらうため、プロ等の活躍を生で感じたり、スポーツ教室やコンサートを開催することで、元気な島っ子を育てていきます。



(イ) 子どもが集まる場所づくり

現在、豊浜町は、少子化が著しく進んでおり、子どもたちが友達と遊んだり集う機会が少なく、学校が唯一集まれる場所になっています。

このため自治会等と協力して、もっと子どもたちが集まり、意見を言える場所をつくっていきます。



(ウ) ウォークラリー大会

豊浜町で生まれ、育った子どもたちに地元の町や人、歴史を知ってもらうため、ウォークラリー大会を開催し、新しい豊浜の発見につなげます。



(エ) 声かけ運動・ちびっこ教室事業

自治会・豊浜地区青少年補導員連絡協議会・豊浜まちづくりセンターと協力し、事業の継続・発展を支援します。



(オ) 成人式事業

地元出身の新成人に豊浜の良さを再確認してもらうため、自治会と協力し、事業の継続・発展を支援します。



ウ. 「山には黄金 海には銀影」本物しかないまち

豊浜の特産品に誇りを持ち、町外の人々が本物の味を求めてくる町を目指します。



(ア) 特産品開発

タチウオ、おこぜ、へこたん、ひじき、みかん、レモン、サツマイモなど豊浜の特産品を使って製品開発を行います。



(イ) 伝統的料理の教室

豊浜の伝統的料理をレシピ本を作成し、若者などに継承していきます。



(ウ) 「豊浜の味」のPR

豊浜町には、飲食できる場所が少ないため、特産品(豊島ラーメン・みかん・レモン・魚の浜焼きなど)を食べる場所を提供することで、「豊浜の味」を町の内外にPRします。



(エ) 農業・漁業体験

みかん狩りなどの農業体験、ボランティアによる農業収穫支援、魚のさばき方教室、釣りなどの漁業体験を行い、豊浜町の産業を知ってもらい交流などを行います。



また、島の財産である海を活用して、釣り堀を整備することにより、漁業体験を目的とした来島者の増加を目指します。

(オ) 大漁旗・古着の活用

漁船に掲げられた大漁旗や古着を活用して、ハッピー・ゆぐり・草履・鞆などを作成し販売します。



エ. 海も山も人もキラキラアイランド

だれもが島の自然とふれあい、自然を守るきれいで住みよいまちを目指します。



(ア) 町内クリーン作戦

住民全体で海岸清掃，道路清掃を行い，年間を通じて環境美化に努めます。

(イ) 道普請活動・草刈りボランティア作業

各自治会などの協力により集落内，農道などの草刈り等を行うことで年間を通じて環境美化に努めます。



定年退職者や都会の方からボランティアを募り，山や畑などをきれいにし，交流会を開き協力体制を作っていきます。



(ウ) 花いっぱい運動

各自治会などの協力により花壇などを整備して季節の草花を育てることにより，明るく美しいまちづくりを行います。



(エ) 海の生物調査

海の生物調査を通じて，海に親しみ，生き物に触れ，生き物の生態を学び，海の環境づくりの啓発をします。



(オ) 歩け歩けウォーキングコース(命名プロジェクト)

町内を巡るおすすめウォーキングコースを認定し，年齢・体力・趣味に合わせてコースを選んで歩いてもらうことにより，自然や町とふれあう機会を作ります。



(カ) 絶景ツアーorパンフレット

島から見える朝日・夕日及び夜に大崎下島から見える豊島漁港の街灯などの美しい町並み，風景などを紹介し，パンフレット，絵はがきなど作成して配布します。



(キ) 多島美写生大会・豊浜ギャラリー展

絵や写真のコンクールを開き(賞品有)，入賞作品等の展示を行います。

(ク) 島めぐり

尾久比・鴨瀬の灯台・二窓などへのクルージングや齋島での交流会を開催するなど、あまり知られていない島の自然や風景への関心を高めていきます。



(ケ) 十文字山ハイキング・天体観察

十文字山展望台に登り、食事をしながら天体観察などを行います。



オ. 安心・安全・安らぎ(3安)のあるまち

子どもから高齢者まで「3安」を感じられるまちを目指します。



(ア) カーブミラー設置・修繕

交通の安全性向上のため、危険な箇所にカーブミラーを設置し、古くなったカーブミラーの修繕を行います。



(イ) 交通安全・防犯教室

自転車の安全運転や酒気帯び運転防止など、交通ルールを守る講習会、オレオレ詐欺・振込め詐欺の被害を防止するための講習会など、警察と協力して実施し、町民の交通安全・防犯意識の向上を図ります。



(ウ) バス待合所の整備

バス待合所の整備・修繕・ベンチの購入など、基本的な施設整備を行います。



(エ) コミュニティを育む「ホトリバ」整備事業

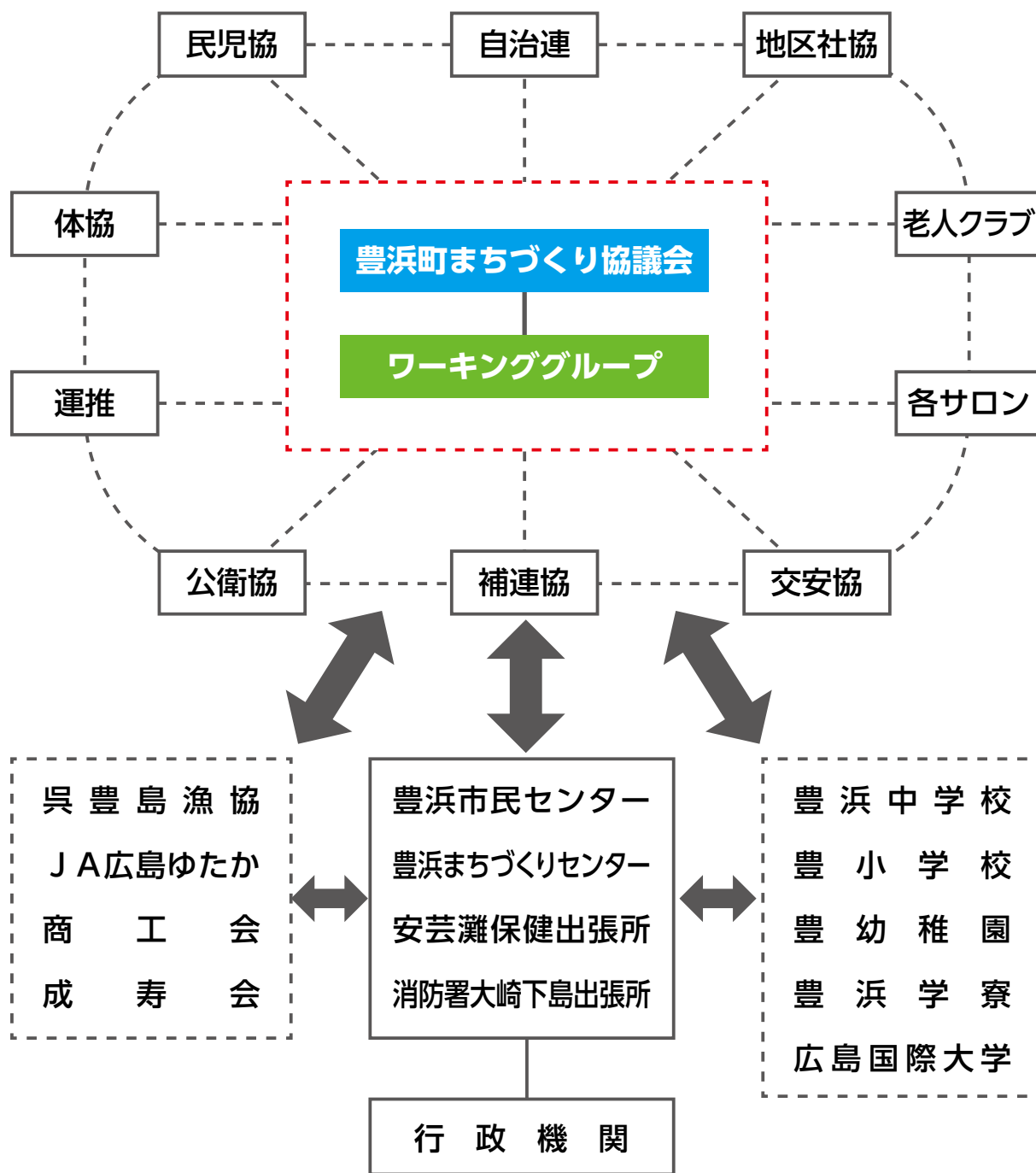
サイン・屋根・ベンチ・掲示板など、基本的な施設整備を行います。



(オ) 消防設備・街路灯整備

地域の安心・安全を守っていくため、消火器・消防ホース等の入れ替え、また、高齢者が安心して安全に歩くための、街路灯の整備・修繕など、基本的な安全施設の整備を行います。

(4) 豊浜町まちづくり協議会の体制



4. 豊浜町の沿革等

時代	できごと	時代	できごと
3～5世紀頃	弥生式文化遺跡(大浜水尻・堀越・川端, 豊島雁田)	昭和50年(1975)	大浜棧橋完成
7～8世紀	古墳文化(大浜黄幡古墳, 豊島長砂古墳)	昭和51年(1976)	人口4,650人(男2,172人・女2,478人)戸数1,359戸
天文20年(1550)	大崎下島, 豊島付近に中国より温州みかんの種子散布	昭和51年(1976)	小野浦教職員住宅落成
文禄4年(1595)	大浜近海, 馬乗及び雀磯の網代を発見	昭和52年(1977)	県外出漁対策協議会設立
元禄年間(1688)	伊予国から安芸国に属す	昭和53年(1978)	内浦集会所落成
元禄年間(1688)	冷寒鳥「あび鳥」豊島近海飛来(2月初旬から八十八夜頃)	昭和54年(1979)	豊浜中学校改築落成・斎島老人集会所落成
元禄年間(1688)	尾久比二窓, 馬乗, 雀磯, 斎島西岸漁場発見	昭和54年(1979)	農業研修センター・豊浜町斎場落成
寛政9年(1797)	豊浜村大浜大火災	昭和55年(1980)	へき地診療所落成・広報無線設置
文久2年(1862)	ホルトノ木を南国より持ち帰る	昭和56年(1981)	大浜猪ヶ谷より出火(20日間)
明治17年(1884)	旧7月10日小野浦大津波	昭和56年(1981)	患者輸送艇進水・斎島浮き棧橋完成
明治20年(1887)	山口県より夏柑の苗移入試植する	昭和56年(1981)	大浜幼稚園・大浜小学校改築落成
明治21年(1888)	旧3月15日小野浦大火事	昭和56年(1981)	豊島開発総合センター落成
明治22年(1889)	町村制実施 斎島・大浜を合併し豊浜村と称す	昭和56年(1981)	町営歯科診療所開設・優良消防団として県知事表彰
明治23年(1890)	人口4,393人(男2,177人・女2,126人)戸数802戸	昭和57年(1982)	大浜小学校体育館落成
明治23年(1890)	小野浦農業協同組合・大崎下島漁業協同組合設立	昭和58年(1983)	豊島小学校体育館落成・立花渡船待合所完成
明治31年(1898)	大浜で温州みかんの栽培が開始	昭和60年(1985)	山崎集会所落成
明治32年(1899)	ネーブル・オレンジの苗木を紀州より購入	昭和63年(1988)	広域営農団地農道整備事業着工(架橋)
明治40年(1907)	大浜長谷・豊島金崎で銀銅鉱採掘	昭和63年(1988)	豊浜町基本構想策定
明治42年(1909)	早生温州みかんを大長より苗木分譲栽培	平成元年(1989)	豊浜生誕100周年及び町制施行20周年記念式典
大正元年(1912)	レモン栽培を大長より穂木を得て接木	平成2年(1990)	人口3,195人(男1,456人・女1,739人)戸数1,243戸
大正元年(1912)	山崎農業協同組合設立	平成2年(1990)	斎島への給水事業として給水船「いつき」進水
大正14年(1925)	人口5,579人 戸数1,030戸	平成3年(1991)	山崎地区資料保存館落成・空海展望台完成
昭和4年(1929)	豊島郵便局開局	平成3年(1991)	9月27日台風19号来襲
昭和5年(1930)	斎島に始めての交通機関同栄丸進水	平成4年(1992)	豊浜町高齢者生活福祉センター落成
昭和6年(1931)	2月20日あび渡来群遊海面が国の天然記念物に指定	平成4年(1992)	豊島幼稚園・豊島小学校改築落成
昭和9年(1934)	春に映画館「豊楽座」開演	平成4年(1992)	豊浜大橋完成開通
昭和22年(1947)	学制改革(6・3・3・4制)各村に小中学校設置	平成5年(1993)	架橋記念公園・豊浜水産加工場完成
昭和24年(1949)	島内電気工事完了・斎島自家発電	平成6年(1994)	内浦伝統芸能伝承館・大浜集会所完成
昭和26年(1951)	10月14・15日ルース台風来襲	平成6年(1994)	大崎バス運行
昭和27年(1952)	豊島温泉開業	平成7年(1995)	町立斎小学校閉校
昭和27年(1952)	豊浜村農業協同組合設立・豊浜村教育委員会設置	平成7年(1995)	豊島ターミナル落成
昭和28年(1953)	人口7,084人(男3,558人・女3,526人)戸数1,388戸	平成8年(1996)	大浜幼稚園休園
昭和29年(1954)	豊浜中学校増築落成	平成9年(1997)	「あびの里いつき」落成・「ケーブルとよはま」開局
昭和30年(1955)	豊浜学寮開所	平成9年(1997)	大浜沖(マダいの里)海洋牧場完成
昭和35年(1960)	豊島港に浮き棧橋を設置	平成11年(1999)	介護支援センター落成
昭和38年(1963)	内浦地区に水源地完成し, 水道が完備	平成11年(1999)	町営特定公共賃貸住宅落成
昭和39年(1964)	豊島と大浜水道工事完了・山陽商船(株)旅客船就航(大長～仁方)	平成11年(1999)	呉東消防署大崎下島出張所落成
昭和41年(1966)	小野浦地区・大浜地区簡易水道完成	平成12年(2000)	安芸灘大橋完成開通
昭和42年(1967)	斎島地区海底ケーブルによる電気導入	平成13年(2001)	芸予地震発生
昭和44年(1969)	町制施行	平成14年(2002)	役場新庁舎, 漁民ふれあいセンター落成
昭和44年(1969)	第1回町民運動会開催	平成15年(2003)	呉市・豊浜町合併協議会設置
昭和45年(1970)	豊浜町商工会設立	平成16年(2004)	町営渡船「第三わたし丸」運航終了
昭和45年(1970)	8月21日台風10号来襲	平成16年(2004)	呉市・豊浜町合併調印式
昭和46年(1971)	豊浜町学校給食センター・大浜教員住宅落成	平成17年(2005)	人口2,050人(男948人・女1,102人)戸数1,028戸
昭和46年(1971)	山崎・立花フェリー基地完成	平成17年(2005)	豊浜町と呉市合併
昭和46年(1971)	山陽商船(株)フェリー就航(立花～仁方)	平成20年(2008)	豊島大橋完成開通
昭和48年(1973)	立花地区簡易水道施設完成・自動電話開通	平成26年(2014)	小中学校の統廃合(小学校は豊, 中学校は豊浜)
昭和49年(1974)	安芸灘水道の給水開始	平成31年(2019)	人口1,323人(男619人・女704人)戸数877戸

豊浜町まちづくり協議会規約

(名 称)

第1条 この協議会は、豊浜町まちづくり協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(目 的)

第2条 協議会は「香りと味と輝きのまちビューティフルアイランド豊浜」を目指すために地域住民の主導のもと、誰もがいきいきと安心して暮らせる、活力あるまちづくりを推進していくことを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域のまちづくり計画事業に係る課題整理や調整
- (2) まちづくりに係る振興事業の企画・推進・調整
- (3) 住民福祉の向上やコミュニティ活動の確立を図るための研究
- (4) 年間の統一的努力事項の協議・決定
- (5) その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 協議会の委員は、別表の各種団体等の代表者で構成する。

- 2 協議会のもとに、ワーキンググループを置く。
- 3 ワーキンググループについては、別に定める。
- 4 協議会のもとに、プロジェクトチームを置く。
- 5 プロジェクトチームについては、別に定める。

(役 員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 会計 1名
- (4) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 前条各号に定める役員は、総会において委員の中から選任する。

- 2 役員を選任方法は、前条各号に定める役員ごとに立候補を受け付け、立候補者が当該各号に定める定数を超えるときは、総会出席者による選挙を行う。
- 3 前項の規定による立候補者が前条各号に定める定数に満たないときは、委員からの推薦により役員候補者を決定し、総会の承認を得て選任する。

(役員職務)

第7条 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときは、会長が定めた順序で、その職務を代理する。
- 3 会計は、協議会の会計を司る。
- 4 監事は、会計を監査する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員を生じたときは、補充する。補充による任期は、前任者の残任期間とする。

(総 会)

第9条 総会は、会長が招集し、議長となる。

- 2 総会は、毎年1回以上開催し、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 規約の制定及び改廃に関する事
 - (2) 予算及び決算に関する事
 - (3) 事業計画に関する事
 - (4) 役員選任に関する事
 - (5) その他、会長が必要と認める事

- 3 総会は、委任状も含めた委員の過半数をもって成立する。
- 4 議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第10条 協議会に役員会を置き、役員をもって構成する。

- 2 協役員会は、会長が必要に応じて招集し、その議長になる。
- 3 役員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を必要に応じて総会に報告する。
 - (1) 総会に付すべき事案に関する事
 - (2) 総会を招集する暇が無い場合における緊急事項に関する事
 - (3) 協議会の運営に関する事
 - (4) その他、会長が必要と認める事

(事務局)

第11条 協議会の事務を処理するため、事務局を呉市役所豊浜市民センター豊浜支所に置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第12条 協議会の経費は、補助金、寄付金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第13条 協議会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第14条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(残余財産の帰属)

第15条 協議会が解散した場合において、その残余財産は、呉市に帰属するものとする。

(委任)

第16条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規約は、平成17年2月15日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年6月10日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成19年5月18日から施行する。

附 則

この規約は、平成20年5月14日から施行する。

附 則

この規約は、平成23年3月22日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成25年5月20日から施行する。

附 則

この規約は、平成27年5月18日から施行する。

豊浜町まちづくり協議会構成員(別表第4条関係)

団体名等	構成	人数
豊浜地区自治会連合会	単位自治会正・副会長	19人
呉市第28区民生委員児童委員協議会	会長・副会長	2人
豊浜地区老人クラブ連合会	会長	1人
豊浜町体育協会	会長	1人
呉市社会福祉協議会豊浜支所	代表者	1人
呉豊島漁業協同組合	代表者	1人
広島ゆたか農業協同組合	代表者	1人
豊浜町商工会	代表者	1人
学校関係	小・中学校校長	2人
豊浜地区社会福祉協議会	会長	1人
救世軍豊浜学寮	代表者	1人
成寿会	代表者	1人
女性会	代表者	2人
ワーキンググループ	代表者	1人

豊浜町まちづくり協議会委員名簿

令和2年3月現在

役職	団体名	構成	氏名
会長	豊浜地区自治会連合会	小野浦第2自治会長	伊藤 圭一
副会長	豊浜地区自治会連合会	内浦自治会長	灰原 松二
副会長	豊浜地区自治会連合会	立花自治副会長	山崎 文雄
会計	豊浜地区社会福祉協議会	会長	西永 英典
監事	豊浜地区自治会連合会	斎自治会長	星野 右郷
監事	第28区民生委員児童委員協議会	会長	狭間 雅子
	豊浜地区自治会連合会	立花自治会長	山根 睦夫
	豊浜地区自治会連合会	大浜自治会長	登能 傳
	豊浜地区自治会連合会	大浜自治副会長	門石 勝文
	豊浜地区自治会連合会	山崎自治会長	道法 敏孝
	豊浜地区自治会連合会	山崎自治副会長	黒田 正純
	豊浜地区自治会連合会	内浦自治副会長	大上 隆己
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第1自治会長	西井 泰
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第2自治副会長	西浦 逸志
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第3自治会長	北木 豊洋
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第3自治副会長	北倉 末喜
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第4自治会長	西宮 武彦
	豊浜地区自治会連合会	小野浦第4自治副会長	南 信生
	第28区民生委員児童委員協議会	副会長	坂 千晶
	豊浜地区老人クラブ連合会	会長	竹野 斌
	豊浜町体育協会	会長	高木 清司
	呉市社会福祉協議会豊浜支所	代表者	高木 絹枝
	呉豊島漁業協同組合	代表者	北田 國一
	広島ゆたか農業協同組合	代表者	八重垣 憲吾
	豊浜町商工会	代表者	小櫻 重善
	豊浜中学校	校長	勝村 昌史
	救世軍豊浜学寮	代表者	広兼 和志
	成寿会	代表者	寺岡 康郎
	ワーキンググループ	代表者	西浦 逸志

(敬称略・順不同)

